

地域ネットワーク ニュース 第11号

内 容

- 1 地域リーダー応援講座
.....1・2 ページ
- 2 町内会だよりコンクール表彰作品
紹介
.....3 ページ
- 3 地域の活動紹介
.....4 ページ

▼はじめに

このニュースレターは、八戸市連合町内会連絡協議会での取組や八戸市内の連合町内会・町内会・自治会での活動などを紹介し、相互の情報共有や各町内会等での活動に役立てていただくこと、さらには、市民の皆さまにもお読みいただき、町内会の活動への関心を高めていただくことを目的に発行するものです。



地域リーダー応援講座を開催しました！

平成28年1月30日（土）、八戸グランドホテルにて『地域リーダー応援講座』を開催しました。当日は、町内会長や役員など113名の参加がありました。

基調講演では、「若手が活躍する高山自治会に学ぶ～若い人との関わり方、育て方、私たちシニア世代の役割とは？～」と題し、横浜市高山自治会会長 井上 晴彦氏にお話いただきました。

また、事例紹介では、「町内会運営の新たな試み」をテーマに、ボランティア役員の導入、ごみ集積所の全住民による当番制、未加入者の寄付制度などの取組を八戸市高館ニュータウン町内会事務局長 白濱 光雄氏にお話いただきました。

そのほか、町内会だよりコンクール表彰式、会場みんなで座談会を行い、町内会運営について見識を深めました。



➡町内会だよりコンクールの表彰作品の紹介は、3 ページです。

地域リーダー応援講座 基調講演

若手が活躍する高山自治会に学ぶ ～若い人との関わり方、育て方、私たちシニア世代の役割とは？～



神奈川県横浜市
高山自治会 会長 井上晴彦氏

今回の基調講演では、役員の8割が若手で構成されている横浜市高山自治会会長 井上 晴彦氏をお招きし、ご講演いただきました。

高山自治会の役員は1年交代の輪番制。役員16人の平均年齢は30歳から40歳です。特に子育て中の若いお母さんが多いことから、仕事や子育てに支障がないよう配慮しています。

* 高山地区では、賃貸住宅に住む世帯が全体の7割以上、住人の多くが現役世代や子育て世代。

①会合は原則として、第一日曜日の午前中に行う。夜間の定例会は行わない。

小さなお子さんを抱えたお母さん役員が多く、ご主人が休みの時であれば、子どもを見てもらえること、子ども連れの役員会出席を奨励していたこと、夕方は、夕食の支度で忙しいことなどからルール化しました。他の自治会でよくある会合が終わった後の「一杯会」に抵抗があったことも午前中にしている理由の一つです。

②日常の連絡は、パソコン、携帯のメール等その時の最善の連絡手段を使う。

若い役員の提案により取り入れました。現在は自治会役員には、メーリングリスト方式で、パソコン、携帯共に情報を一括発信する方法を取り入れています。

従来の慣習にこだわらず、個人の事情をみんなで思いやり、地域住民の特性に応じた町内会・自治会運営をすることが、町内会・自治会の活性化につながっていくと思います。

地域リーダー応援講座 事例紹介

町内会運営の新たな試み



高館ニュータウン町内会
事務局長 白濱 光雄氏

事例紹介では、八戸市高館ニュータウン町内会事務局長 白濱 光雄氏に、「町内会運営の新たな試み」をテーマに、運営にかかる実践的な事例を紹介していただきました。

* 高館ニュータウン町内会 加入率74.7% (180/241世帯)

平成20年頃から「役員が自分の番に来る前に脱会してしまうケースの増大」、「加入者の未加入者に対する不満」などの問題があったことから、平成23年から次の運営改善に取り組みました。

- ①ボランティア役員体制の実施（輪番制による役員選出から有志によるボランティア役員へ）
- ②町内会会費の引き下げ(月500円から400円に)
- ③「ごみ集積所」の全住民による輪番制掃除活動
- ④未加入者の『町内会活動支援協力金（寄付金）』の実施

* 退会者対策として①②を実施。③④のように未加入者にも協力をしてもらっている。

町内会費の引き下げやごみ集積所の輪番制、未加入者の寄付金制度などにより、会員と未加入者との距離が縮まり、2～3年脱会者は出ていません。

住んでいる人全員が町内会の会員だという気持ちで今後も取り組んでいきたいと思っています。



平成 27 年度 町内会だよりコンクール表彰作品紹介



町内会だよりコンクールは、広報紙作成の奨励と情報発信力の向上を目的に実施しています。今回は、6 作品が受賞しました。



東大平町町内会

『東大平町だより』

★活用・工夫

作成の役割分担は、皆で行事ごとに入れ替えている。会員が様々な方面で活躍した記事を取上げている。鮫公民館に置かせてもらっている。

★審査員講評

カラー紙面が立派で記事と写真のバランスがよい。役員紹介など、身近に感じてもらう工夫がある。鮫角灯台をシンボルマークにし、地域への愛着心を養うなど細やかな心遣いを感じる。



岩淵町町内会

『元気!!岩淵だより』

★活用・工夫

活動を分かり易く伝えるため、写真を多めに掲載。行事参加者の増加に繋げるため、町内会活動の楽しい、活発な様子を周知するよう意識して作成。

★審査員講評

吹出しなど見やすい工夫がある。町内会費の使われ方への Q&A が良い。文量と写真のバランスが良い。町内会活動が住民によく理解してもらえるような構成が良い。



下長町町内会

『下長町町内会だより』

★活用・工夫

各部の行事日程等の詳細を記載した部報を発行。町内会広報はきめ細かい情報提供と、参加意識を高めることを目的に、実施された行事等をお知らせ。写真を多くし、字も大きめにしている。

★審査員講評

高齢者を狙った詐欺の注意喚起に役立てている。写真が多くバランスやデザイン構成も良い。町内会活動の視覚化など、活動が住民によく理解してもらえるような工夫がある。



藤子新町町内会

『藤子新町通信』

山ノ手町内会

『やまノて通信』

南田面木町内会

『南田面木町内会だより』

★表彰作品の詳細は、八戸市ホームページで見ることができます。

八戸市ホームページ： トップ > 住まい・生活環境 > 地域活動・市民活動 > 町内会・自治会 > 平成 27 年度第 2 回町内会だよりコンクール表彰作品



地域の活動紹介

伝統行事を今に伝え、交流深める



～ 鯨地区 東大平町町内会『もちつき大会』～



◆お餅をつきます◆



◆手慣れた手つきで丸めます◆



◆子どもたちには、きな粉が一番人気◆



◆きな粉・あんこ◆



◆お雑煮◆

今回で 15 回目

平成27年12月27日(日)、東大平町町内会(田名部 光男 会長)では、今回で15回目となる「もちつき大会」を開催しました。この日は、子ども5人を含めて、26人が参加。また、鯨角灯台を管理している八戸海上保安部からも2人参加し、地域との連携を深めました。

この日用意されたもち米は36キ口。最近では少なくなった「臼^{うす}」と「杵^{きね}」を使った昔ながらのやり方でお餅をつきます。

子どもたちは、地域の方から手ほどきを受けながら伝統的なもちつきを体験し、つくたてのお餅は「きな粉」、「あんこ」、「お雑煮」の3種類でいただきました。

参加した小学校5年生の4人は、「つくたてのお餅は熱々でおいしい!」、「また、来年も参加したい」と笑顔をこぼしていました。

はじめたきっかけ

この行事は、15年前、田名部会長が「臼」と「杵」を知人から譲り受けたのがきっかけ。「子どもたちにもちつきの体験をさせたい」、「一人暮らし高齢者の方につきたてのお餅を食べてもらいたい」という思いから始まりました。

もちつきで交流深める

ついたお餅は、例年、町内の高齢者宅に配っていますが、今回は15回目の記念行事ということもあり、参加したくても参加できない方や住民の皆さんへの日頃の感謝の気持ちも込めて、町内全世帯(135世帯)に配りました。

田名部会長は、「東大平町は昔から子どもとお年寄りを大事にする町内。皆さんが喜んでくれることが何より嬉しい」と話します。

東大平町町内会では、もちつき大会を通じて、子どもたちに伝統文化を伝えるとともに、町内住民の融和と交流を図っています。

編集発行：八戸市連合町内会連絡協議会(事務局：八戸市総合政策部市民連携推進課)

〒031-8686 八戸市内丸1-1-1 市庁舎本館4階

電話番号：0178-43-9182 FAX 番号：0178-47-1485

電子メール：renkei@city.hachinohe.aomori.jp

ホームページ：八戸市 トップ>住まい・生活環境>地域活動・市民活動>町内会・自治会
>八戸市連合町内会連絡協議会